

エストレラ津田サッカークラブ保護者

エストレラ姫路フットボールクラブ関係者

福崎高校、琴丘高校、市姫路高校

私に関わるすべての人々へ

エストレラ津田サッカークラブ代表

NPO スポーツクラブエストレラ理事長

樽本 直記

福崎高校、琴丘高校、市姫路高校サッカー部を監督歴任し、この春（3月末）を以て高校サッカーの指導に終
止符を打つこととなりました。43年前にエストレラ津田サッカークラブを立ち上げ、2000年にはNPOス
ポーツクラブエストレラの創部と、関わってきた2つのクラブ運営に今後は重心を移し他にない街クラブとして
飛躍、発展することに全力を尽くす覚悟です。

そのために、一番にやらなくてはならない「拠点」づくりに早速着手いたします。

大塩「おかげの森」自然スポーツパーク

(仮) エストパーク

の建設が決定しました。

具体的には、ナイター照明付き人工芝グラウンド 大人1面（少年2面）と同等の大きさの自然スポーツパーク
建設を計画しており、現在はグラウンド整地に入っています。

人工芝グラウンドでは、エストレラに所属する（Jrユース・ユース・社会人）選手、エストレラ提携チーム（津
田・白鳥）選手の強化、育成の場に活用する予定です。隣接する場所には自然スポーツパークとして、簡易の少
年サッカーコート1面をはじめとしてその他グラウンドゴルフやゲートボール、テニスコートや各種イベントが可
能な天然芝の多目的グラウンドを建設予定です。そこでは高齢者支援や子育てに役立つプログラムを提供しその
周辺には小高い森、林、間伐材を利用した自然の「憩い」の空間をつくり近隣住民の方々にも利用していただ
ける「コミュニティの場」としての提供を考えています。東側には有機野菜農園も併設予定です。

人工芝グラウンドでは私が40年以上サッカーに携わってきた結果多くの人々とのつながりを生かし、Jリーグ
やJ下部のカテゴリーをはじめ大学、強豪高校なども招待し、今まで姫路にはなかった全国レベルのチームとの
交流や招待試合、大会などのイベントも構想の一つです。少年たちがハイレベルなサッカーをそばで見、直接触
れ、多くの指導者に指導を仰ぐシステムも加え、姫路のサッカーのレベルアップにつなげていきたい。

また東京パラリンピック開催にちなんで、ハンディのある人々がサッカーを（車椅子・ブラインド・聴覚障害・
知的障害等）を楽しんでもらえる大会を設け（仮）エストパークが障害のある競技者の全国大会の「メッカ」に
なることを目標にしています。

少し離れた南西にある海での体験（海水浴・地引き網体験など）や北に位置する山を利用しハイキングクラブ、
キャンプなど。南にあるゴルフ場や魚釣り場ではお父さんたちの趣味の場としてまた親子の交流の場として利用
していただきたいとおもっています。

第2弾として近い将来にはクラブハウス建設を計画しており、アカデミー（ミーティング・体の使い方・メンタ
ルセミナー・食育・学習塾）などの教育の場に。また会員の人たち楽しんでいただけるカフェ・図書ルーム・
ヨガ・絵画・陶芸・子育てママ教室、不登校生との交流など様々な教室の開校を予定しています。